

令和7年度 浜松市教育研究会図画工作科研究部 研究推進計画

1 研究主題

「表したい思い」であふれ、造形的な視点を豊かに働かせることができる授業づくり
～子供の「表したい思い」に根ざした題材構想～

2 主題設定の理由

学習指導要領が完全実施され、「何のために学ぶのか」という教育の本質に迫りつつ、さらに「生きる力」を育てていくことが大事となる。令和3年1月には、中央教育審議会から『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～の答申が出された。また、近年、若手教職員の割合が増え、世代交代が進んでいる。長年培ってきた職種独自の「専門性」や「スキル」などを共有し、伝授していく必要がある。そのため、「浜松市教育研究会」では、年3回の教科研修の場を「共有」「伝授」の場と考え、教職員側の視点に立ち、基本テーマを「愛情と情熱を持って学び続け 未来を拓き 生き抜く力を育てよう」とした。

従って、図画工作科研究部においても、教職員側の視点で研究主題を設定した。前年度までの研究を継続しつつ、学習指導要領で求める資質・能力を育成し、子供たちの「表したい思いであふれる」授業が生まれ、また、多くの先生方が「図画工作科を指導することが楽しい」と感じることができる研究を進めていきたい。

3 研究構想図

浜松市教育研究会テーマ

愛情と情熱を持って学び続け 未来を拓き 生き抜く力を育てよう

第4次浜松市教育総合計画「描く夢や未来の実現」

- ＜目指す教職員の姿＞
- こどもの自分らしさを受け止める教職員
 - 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
 - 専門性と指導力を磨き続ける教職員

研究主題

「表したい思い」であふれ、造形的な視点を豊かに働かせることができる授業づくり
～子供の「表したい思い」に根ざした題材構想～

学習指導要領を
学ぼう

「知識」「技能」を身に付け、創造
的につくったり表したりできる活動
をつくらう

鑑賞の楽しさを学び、見方
や感じ方を広げられる活動
をつくらう

先生方に学ぼう
聞こう

- 造形的な見方・考え方
共通事項の内容を学ぶ
- 「知識」「技能」「思考力・
判断力・表現力など」を
学ぶ
- 「学びに向かう力、人間
性等」を学ぶ

- 題材における「知識」「技能」を理解する
- 子供の「表したい思い」に根ざした題材をつくる
- 美術館との連携の可能性を探る
- 身に付けさせたい力と評価を明確にする
- 「深い学び」が見える授業をつくる
- ICTを生かした授業をつくる
- キャリア教育を生かした題材をつくる

- グループワークや
実践紹介
- 実技研修会
- 研究授業
- 指導計画の立案

協議の視点

- ◎「表したい思い」であふれ、創造的につくったり表現したりしているか。
- ◎造形的な視点を豊かに働かせることができているか。